



Shape your future

CEC
Computer Engineering & Consulting

2017年1月期 第2四半期 決算説明会

株式会社シーイーシー

2016年9月13日



第2四半期の経営成績

第2四半期の経営成績

前年度比較

(単位：百万円)

	2016年1月 第2四半期累計	2017年1月 第2四半期累計		
			増減額	増減率
売上高	21,732	21,893	+160	+0.7%
営業利益	1,746	1,657	▲88	▲5.1%
営業利益率	8.0%	7.6%	(▲0.5%)	—
経常利益	1,875	1,732	▲143	▲7.6%
経常利益率	8.6%	7.9%	(▲0.7%)	—
当期純利益 ※	17	1,077	+1,059	+6,147%
当期純利益率	0.1%	4.9%	(+4.8%)	—

※2017年1月期の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値となります
Copyright © 2016 Computer Engineering & Consulting, Ltd. All rights reserved.

業績予想比較

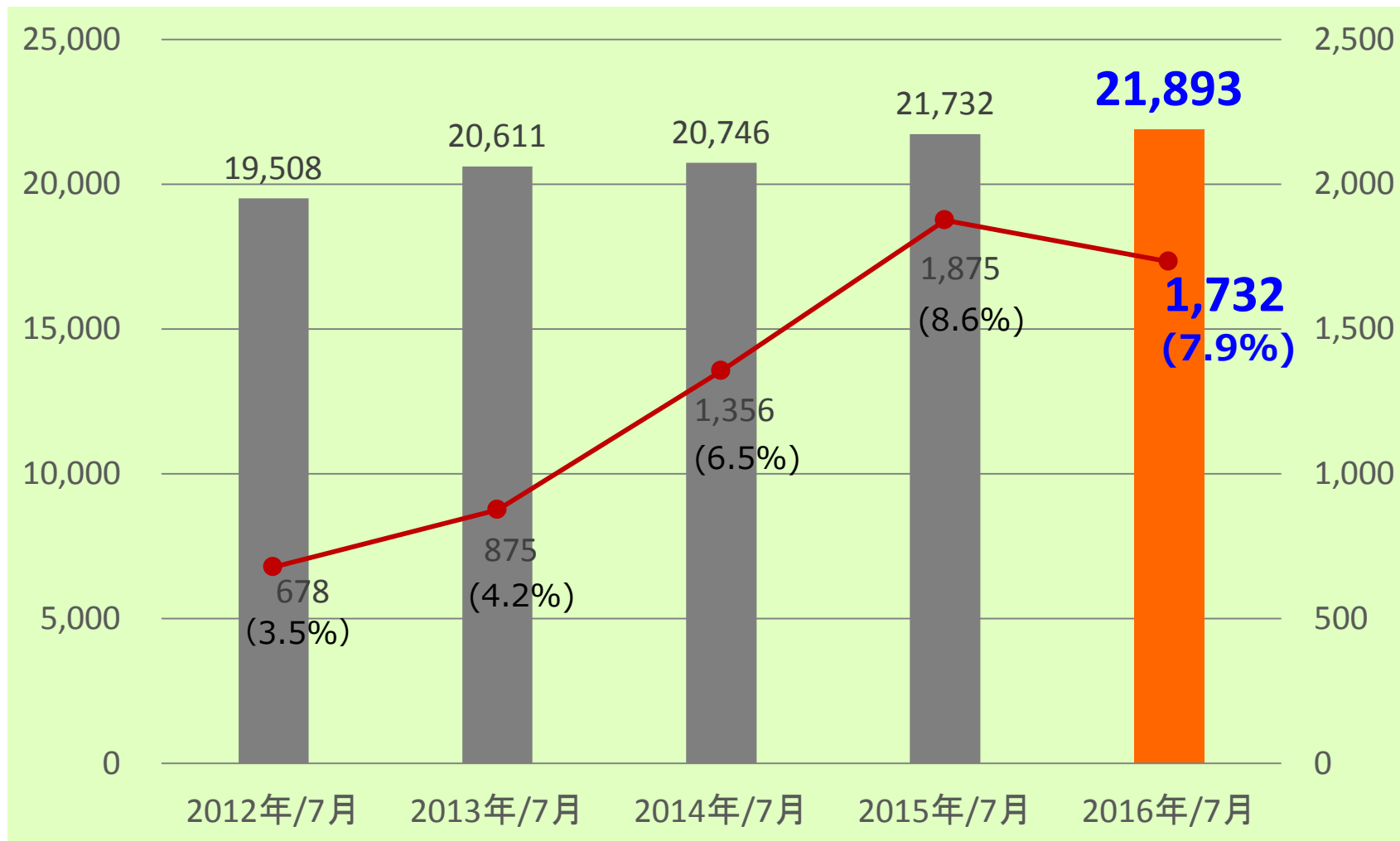
(単位：百万円)

	2016年3月予想 (第2四半期累計)	2016年7月実績 (第2四半期累計)	達成率
売上高	22,000	21,893	99.5%
営業利益	1,650	1,657	100.4%
営業利益率	7.5%	7.6%	—
経常利益	1,670	1,732	103.7%
経常利益率	7.6%	7.9%	—
当期純利益	1,000	1,077	107.7%
当期純利益率	4.5%	4.9%	—

過去5年の売上高・経常利益の推移

売上高：左軸（百万円）

経常利益：右軸（百万円）



売上高：左軸

経常利益：右軸
() 経常利益率

事業セグメント別前年度比較

(単位：百万円)

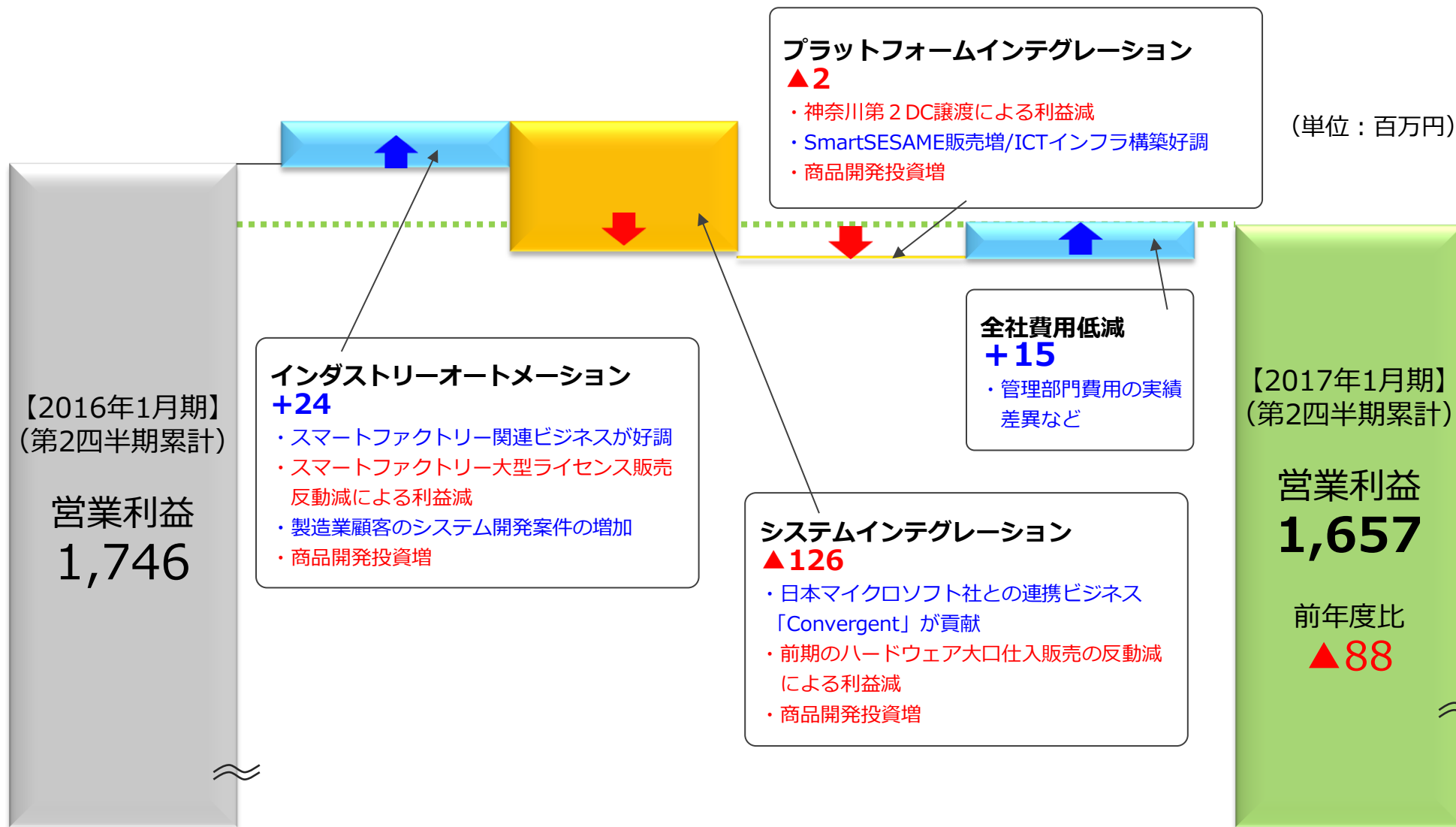
	2016年1月期 (第2四半期累計)		2017年1月期 (第2四半期累計)		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インダストリー オートメーション	4,694	844	5,288	868	+593	+24
システム インテグレーション	11,058	1,795	10,788	1,668	▲269	▲126
プラットフォーム インテグレーション	5,979	689	5,816	687	▲162	▲2
全社費用	—	▲1,583	—	▲1,567	—	+15
全事業	21,732	1,746	21,893	1,657	+160	▲88

業種別売上の前年度比較

	2016年1月期 (第2四半期累計)	2017年1月期 (第2四半期累計)	前 期 比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構 成 比)	8,965 (41.3%)	9,253 (42.3%)	287	+3.2%
通 信・情サビ業 (構 成 比)	5,439 (25.0%)	5,728 (26.2%)	289	+5.3%
金 融 業 (構 成 比)	3,669 (16.9%)	3,618 (16.5%)	▲50	▲1.4%
流 通 業 (構 成 比)	969 (4.5%)	1,019 (4.7%)	49	+5.1%
官 公 庁 (構 成 比)	1,205 (5.5%)	616 (2.8%)	▲589 ※	▲48.9%
そ の 他 (構 成 比)	1,481 (6.8%)	1,656 (7.6%)	175	+11.8%
合 計	21,732	21,893	160	+0.7%

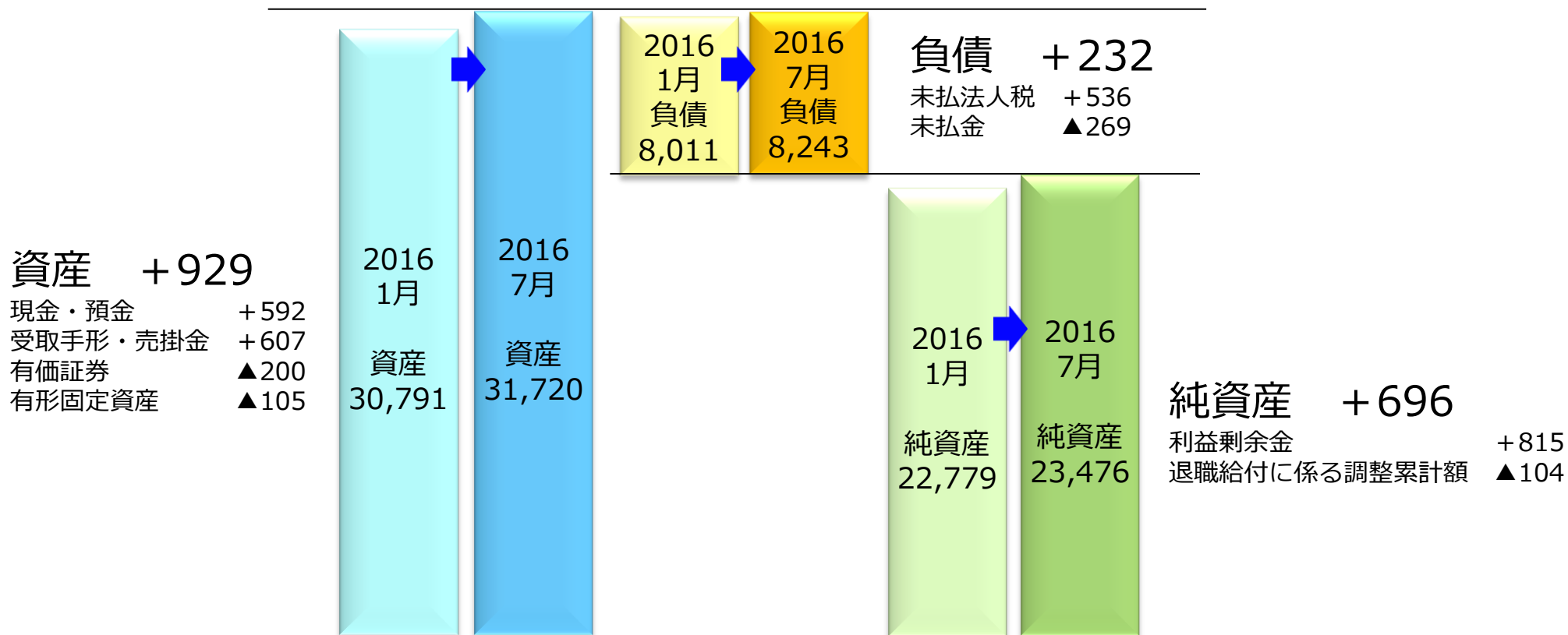
※前期にあったハードウェア大口仕入販売の反動減

連結営業利益の主な増減要因



連結貸借対照表 期首との比較

(単位：百万円)



業績ハイライト

◆売上は、前期のハードウェア大口仕入販売等の反動減があったものの、スマートファクトリー関連ビジネスが好調に推移するなどし、前期比増収となった。

利益は、自社開発製品の大口販売や有価証券保有目的変更による評価益計上の反動減等の影響があり、前期比減益となった。

売上高 **21,893百万円** (前期比 **+160百万円**) 公表値に若干届かず

インダストリーオートメーション事業 (+593百万円 +12.7%)

- ・スマートファクトリー関連ビジネスが好調に推移
- ・製造業顧客のシステム開発案件の増加

システムインテグレーション事業 (▲269百万円 ▲2.4%)

- ・日本マイクロソフト社との連携ビジネス「Convergent」が貢献
- ・前期にあったハードウェア大口仕入販売の反動減

プラットフォームインテグレーション事業 (▲162百万円 ▲2.7%)

- ・SmartSESAMEシリーズの自治体向け販売およびインフラ構築サービスが伸長
- ・前期の神奈川第二データセンター事業譲渡による売上減

営業利益 **1,657百万円** (前期比 **▲88百万円**) 公表値をクリア

- ・前期にあった自社開発製品の大口販売反動減
- ・研究開発費の増加

経常利益 **1,732百万円** (前期比 **▲143百万円**) 公表値をクリア

- ・前期にあった有価証券保有目的変更による評価益計上の反動減

当期純利益 **1,077百万円** (前期比+1,059百万円) 公表値をクリア

- ・神奈川第二データセンター事業譲渡に伴う特別損失▲18億円の影響が解消

事業ハイライト

◆ 新製品・新サービスおよび新たな取り組みなどの発表

- 2月1日 クラウドサービス事業拡大に向け、マイクロソフトクラウドビジネスを強化
～業務支援サービス基盤 Convergent (コンバージェント) のサービス内容、体制を強化～
- 4月6日 ディープラーニングを活用した高精度な画像検査システム「**WiseImaging**」を販売開始
～既存外観検査の工数を減らし、認識精度を約30%向上～
- 4月11日 保険代理店向けに、改正保険業法対応CRM「**hoQQot (ほこっと)**」を提供開始
～シーイーシーと出光保険サービス、保険代理店向けクラウドサービス分野で協業～
- 4月14日 「**Re@nove**」マイグレーションからリノベーションへサービスを拡充しIT環境の最適化を実現
～システム移行からBPOまでIT関連業務をフルサポート、成長分野へのパワーシフトを支援～
- 4月18日 動線分析ソフトウェア「**RaFLOW**」が東芝テック製の位置測位システムに対応
～UWB、Wi-Fi、PDRに続きBluetoothビーコンの測位技術にも対応完了～
- 4月21日 CECのDynamics CRM専用モジュールにより、日本最大の企業データベース「uSonar (ユーソナー)」とマイクロソフト社が提供する「Microsoft Dynamics CRM」の連携開始
- 5月19日 日本の商習慣に適したDynamics AX対応「**Convergent GOTOBI**」を提供開始
～26種類の帳票を新たにラインアップ～
- 5月23日 作業者の動態分析システム「**スマートロガー**」をAGC旭硝子と共同開発
～スマートウォッチを活用して熟練者の作業をデジタル化～



2017年1月期の見通し

50T \ 主T \ 日 \ 期 \ の \ 当 \ 期 \ の

業績予想

◆期初に設定した通期予想を据え置く

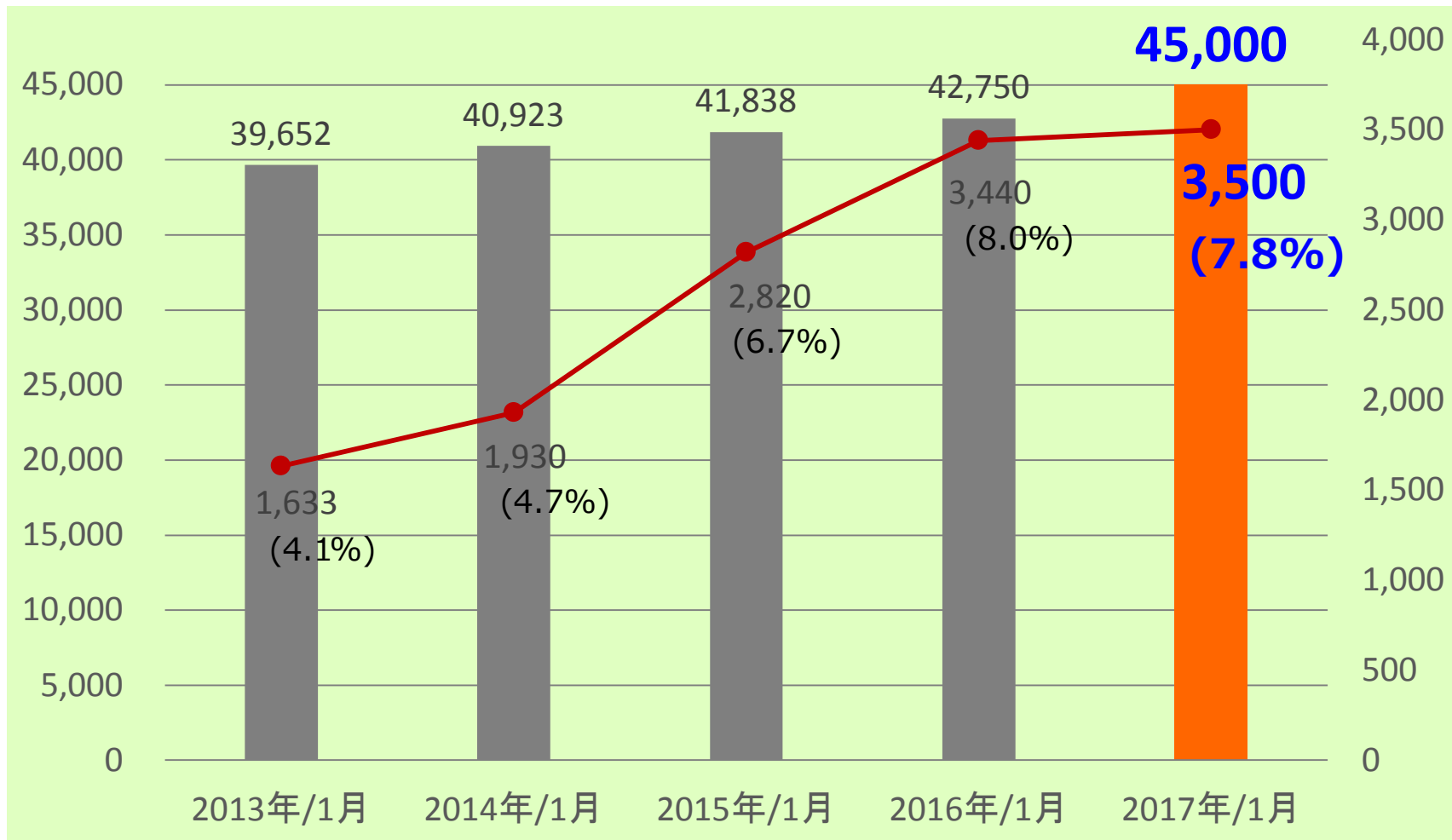
(単位：百万円)

	2016年1月期 実績	2017年1月期予想		
			増減額	増減率
売上高	42,750	45,000	+2,249	+5.3%
営業利益	3,255	3,450	+194	+6.0%
営業利益率	7.6%	7.7%	(+0.1%)	—
経常利益	3,440	3,500	+59	+1.7%
経常利益率	8.0%	7.8%	(▲0.2%)	—
当期純利益	1,289	2,200	+910	+70.6%
当期純利益率	3.0%	4.9%	(+1.9%)	—

過去業績実績と今期予想の比較

売上高：左軸（百万円）

経常利益：右軸（百万円）



売上高：左軸

経常利益：右軸
() 経常利益率

事業セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	2016年1月期		2017年1月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インダストリー オートメーション	9,591	1,673	10,500	1,850	+908	+176
システム インテグレーション	21,148	3,453	22,000	3,500	+851	+46
プラットフォーム インテグレーション	12,011	1,330	12,500	1,400	+488	+69
全社費用		▲3,201		▲3,300		▲98
全事業	42,750	3,255	45,000	3,450	+2,249	+194

世界経済の極めて不透明な状態は、今後も継続する

- ① **米国1国の経済情勢に支えられている**
 - 米国の経済不安が始まると世界同時不況へ陥る恐れ
- ② **米国の次期大統領選挙の結果次第で、世界経済へも日本経済へも多大な影響が想定される**
 - TPPの取り止めや他の貿易摩擦圧力の増大による日本経済の悪化
- ③ **東アジア地域の政治的・軍事的緊張の増大**
 - 中国との経済関係の悪化による日本経済の悪化
- ④ **英国のEU離脱選択による欧州経済の方向性**
 - 欧州市場に展開する日本企業の事業構造変更に対するコスト増
- ⑤ **ギリシャ債務危機の再燃やイタリア等の他の欧州国家のドミノ的経済危機の可能性**
 - 世界同時不況へ陥る恐れ
- ⑥ **世界のマーケットとなっている中国経済の不安定さに対する懸念拡大**
 - 世界同時不況へ陥る恐れ
- ⑦ **原油安の長期化とさらなる安値更新の可能性**
 - 石油関連企業の業績低迷、米国・ロシアなど原産国の経済不安へ発展
- ⑧ **年明けからの急激な円高が継続**
 - 輸出関連の日本企業の業績低迷による日本経済の悪化

「怯まず挑む」が合言葉
当初目標達成に全力を尽くす

下期目標達成のためのポイント

インダストリーオートメーション事業

■スマートファクトリー事業の拡大

- ・工場IoT情報プラットフォーム「Facteye」の拡販等、製造業の生産性向上をICTで支援する事業を継続拡大
- ・人と設備の協調に向けた情報分析、情報基盤の構築、最適作業指示サービスの開発/投入

■製品開発全体に関わるデジタルエンジニアリング事業の拡大

- ・組込みソフト開発向けプロジェクト管理+品質管理ツールの新製品投入など
- ・医療分野をはじめ、特定の注力分野を定めた集中拡販の推進

システムインテグレーション事業

■マイクロソフトクラウド事業の拡大

- ・「Convergent」の業種別テンプレートの拡充などサービス強化による差別化、および全国区での拡販強化

■受託開発からSIサービスへの流れを拡大

- ・ITリノベーションサービス拡販（Re@nove統合サービス）など

■新たな成長市場に向けた取り組みの拡大

- ・協業ビジネスの拡大（CaoThroughなど）、マイナンバーサービス拡販とストック化など

プラットフォームインテグレーション事業

■SmartSESAME事業の拡大

- ・自治体に強い地場密着型パートナー企業（75社）と協業し強力な営業体制を構築、各種商材の全国展開を推進中

■セキュリティ事業の再構築

- ・CEC SOC〈Security Operation Center〉拡販、トレンドマイクロ社との協業による商流活性化、ラインナップ拡充など

■データセンター事業の拡大

- ・顧客保有基幹システムの当社DCへの移設商談への注力

「CaoThrough」は、古野電気株式会社の商標です。



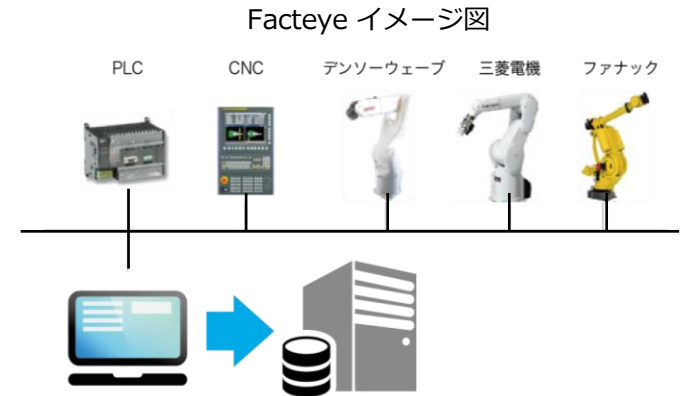
Shape your future

ビジネスピックアップ

- ◆日本版インターストーリー4.0を標榜し、製造業の生産性向上・製品品質の改善を支援するICT製品・サービスを提供

■工場IoT情報プラットフォームFacteyeの拡販強化

- ・製造現場のデータを管理する情報基盤を確立し、データ分析による可視化を実現。生産性向上や、品質改善に役立つ付加価値の高い情報を提供
- ・ネットワーク非対応機器も含め、複数の工作機械、ロボットメーカーに対応した高い汎用性を拡大
- ・設備の稼働状況監視、消耗品のLC管理を通じて、予防/予兆保全を実現し「止まらない工場」を目指す

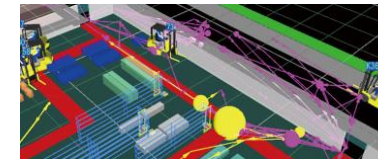


■作業員の作業効率向上、作業品質のさらなる改善をICTで支援

- ・AGC旭硝子様と共同開発した、スマートウォッチを使ったオペレーター動態分析システム「スマートロガー」を拡販強化

現場における、オペレーターの位置、工程の進捗等をリアルタイムに収集し、直観的に状況把握が可能な3D画像 (RaFLOW) で情報提供。作業指示も可能な、双方向の情報連携サービスも強化

RaFLOW イメージ図



スマートロガー イメージ図



■ディープラーニング技術を活用した製品・サービスの開発をさらに強化予定

- ・ディープラーニングを活用した高精度画像検査 WiseImagingの事業拡大
- ・ディープラーニング技術のさらなる研究継続とディープラーニング関連企業との関係強化による新製品、新サービスの創出を狙う
- ・同技術の他分野への展開も模索

◆Convergent の特長である、CEC独自の業種別テンプレートを拡充中

Convergent とは

- ・マイクロソフト社のクラウドサービス*に、CEC独自のノウハウ/ナレッジを付加した統合クラウド業務支援システム
 - ・企業部門内での情報伝達と、部門間での情報連携をスムーズに行うことで、業務効率、生産性向上に貢献
- * Dynamics CRM（顧客管理）、Dynamics AX（基幹業務）、Office 365（グループウェア）、MS Azure（クラウドプラットフォーム）

業種別テンプレート

保険代理店向けクラウド
サービス「ほこっと」



保険会社および保険代理店を対象に、2016年5月に施行された改正保険業法の円滑な対応に向けて、Microsoft Dynamics CRMを基盤に構築したソリューション

独自のノウハウ/ナレッジを付加

日本の商習慣に合わせた
「GOTOBI」



Microsoft Dynamics AX を基盤にした、日本の商習慣に適した26種の帳票をラインナップした業務/帳票ソリューション

◆CECの高い総合力が認められ、マイクロソフト社の各種アワードを連続受賞

Microsoft Worldwide Partner Awardに2年連続入賞



CECは国内CRMパートナーランキング第1位の業績が評価され、CRM部門のファイナリストとして入賞した4社の中で唯一の日本企業となった

「President's Club for Microsoft Dynamics」を受賞



世界中で数万社の中から、特に貢献度の高かったパートナー100社ほどに贈られる称号
CECは通算6度目の受賞で日本最多を誇る

◆官公庁/自治体など公共分野に加え、VDI*など成長市場への営業活動を強化

- ・マイナンバーを扱う端末への二要素認証義務化に伴い、SmartSESAME PCログインの出荷が3.5倍に伸長
- ・自治体に強い地場密着型パートナー企業（75社）と協業し強力な営業体制を構築済、SmartSESAME各種商材を全国展開
- ・ネットワーク分離に伴うVDIプリンタドライバー問題やプリンタサイジングなどに着目し、VDI構築ベンダーとの連携を強化
- ・SecurePrint! においてもICカード以外の認証方式に今期中に対応し、さらなる販売拡大を目指す

* VDI : Virtual Desktop Infrastructure

自治体に強い地場密着型
パートナー企業（75社）
との販売体制を構築済

約

300

今期中に累計約300の
自治体への導入を目標

850

全国都道府県および市の数

公共分野での採用状況

■官公庁・独立行政法人

導入累積数 : 23件
 上期導入件数 : 7件
 現在提案中の件数 : 13件

■自治体

導入累積数 : 73件
 上期導入件数 : 42件
 現在提案中の件数 : 305件

◆働き方の多様化の時代にマッチした特徴あるサービスを今後も拡充

- ・SecurePrint! の導入によりサテライトオフィスでのセキュアな印刷環境を提供（どの営業拠点でも印刷が可能）
- ・全国3万店舗のコンビニを活用した、社外でのセキュアな印刷環境を提供

顧客

協力会社

四面謳歌

従業員

株主

常に顧客・協力会社・従業員・株主と
喜びを分かち合える会社になる

ご清聴ありがとうございました



Shape your future

[お問合せ先]

株式会社シーイーシー

企画部 広報グループ

03-5789-2442

経理部 IR担当

046-252-4111

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。